

総合評価落札方式における受注状況算定の特例措置について

令和元年11月19日

1 目的

建設工事の入札不調・不落が高い水準で発生していることを受けて、公共三部（環境森林部、農政水産部、県土整備部）の総合評価落札方式の入札における受注状況算定について、追加の特例措置を講じます。

2 受注状況（K値）算定において追加する特例措置の内容

(1) 特例対象工事の追加

- 平成31年2月15日以降に入札公告又は指名通知された災害復旧工事の受注額については、受注状況（K値）算定の「過去1年間の受注額」に含まないこととしておりますが、これに加え、環境森林部及び農政水産部の発注工事（漁港漁場工事を除く）につきましても、同様に受注状況（K値）算定の「過去1年間の受注額」に含まないこととします。

過去1年間の受注額を含む (○)		県土整備部	環境森林部	農政水産部	農政水産部 (漁港漁場工事)
過去1年間の受注額に含まない (×)	災害復旧工事	×	×	×	×
	災害復旧工事以外	○	×	×	○

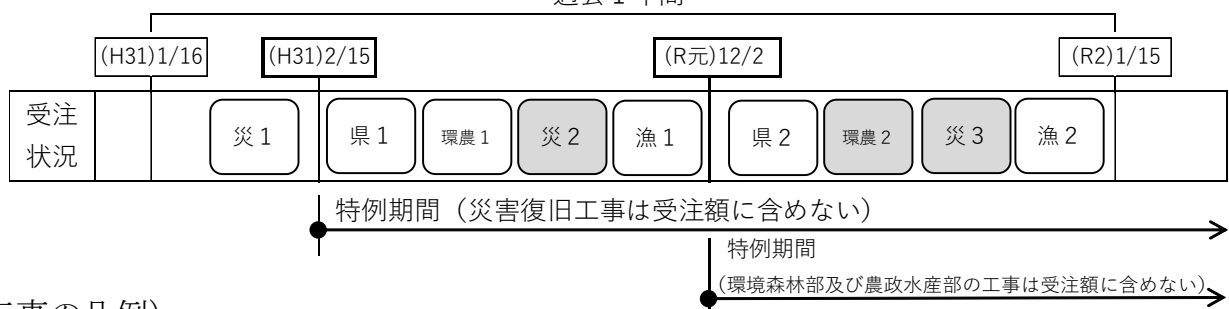
- なお、受注状況（K値）算定での標準受注額の「過去5か年度の平均受注額」の算定に用いる受注額には特例期間中に入札公告又は指名通知する工事も含まれます。
- 特例対象工事の入札公告又は指名通知書には、次のとおり記載します。

○ その他の事項
本工事は、総合評価落札方式における受注状況算定の特例措置の対象工事であり、本工事の受注額は「受注状況」算定の「過去1年間の受注額」には含まない。

【参考】受注状況（K値）の算定式

$$\text{受注状況 (K値)} = \frac{\text{過去1年間の受注額}}{\text{標準受注額 (過去5か年度平均受注額又は同等級平均受注額)}}$$

【参考】「過去1年間の受注額」に含む工事例 (令和2年1月15日から過去1年間の場合)



(工事の凡例)

- : 「過去1年間の受注額」に含む
- ▨ : 「過去1年間の受注額」に含まない
- 災 : 災害復旧工事
- 県 : 県土整備部が発注する災害復旧工事以外の工事
- 環農 : 環境森林部及び農政水産部が発注する災害復旧工事以外の工事
- 漁 : 漁港漁場工事

【参考】災害復旧工事の説明

- 設計書の事業名が「△年発生○○災害復旧事業」又は「○○災害復旧事業」等。
- ※ ○○は、河川、道路、砂防、港湾、急傾斜、海岸、林道、林地荒廃防止施設、地すべり防止施設等

(2) 評価基準の緩和

- ・ 現行では受注状況（K値）が1.0を超えたら減点評価しているところを、1.5を超えたら減点評価するように評価基準を緩和します。

受注状況（K値）	評価
$K \leq 1.0$	0
$1.0 < K \leq 2.0$	-10
$2.0 < K$	-20



受注状況（K値）	評価
$K \leq \mathbf{1.5}$	0
$\mathbf{1.5} < K \leq 2.0$	-10
$2.0 < K$	-20

3 適用期間

- ・ 令和元年12月2日以降に入札公告又は指名通知する工事を対象とし、期間の末日については、不調・不落の状況を考慮して別途お知らせします。
- ・ 災害復旧工事の特例措置の期間についても不調・不落の状況を考慮して別途お知らせします。

4 その他

- ・ 特例期間中、関連する要領等の特例措置に係る記載箇所は、今回の特例措置の内容に読み替えます。